

学校給食の牛乳を提供中止とした経緯等について

学校給食の牛乳の納品事業者から緊急要請があり、急遽、11月7日及び8日の牛乳の提供を取り止めました。納品事業者からの報告により確認した内容等をご報告します。

1 牛乳の提供を取り止めた学校数

11月7日 12校（小学校10校、中学校2校）

11月8日 全校

2 納品事業者が提供中止の緊急要請を行った理由

- 学校給食に提供される牛乳については、納品事業者が、牛乳パックから牛乳を採取し、シャーレで細菌を培養する「細菌検査」と、牛乳パックにノズルを入れて牛乳の成分を確認する「理化学検査」の2種類を行っている。
- 当該日の検査については、通常どおり、細菌検査の後に理化学検査を実施したものの、細菌検査を失敗してしまい、理化学検査でノズルを入れた後の牛乳パックを用いて、細菌検査をやり直した。そのため、ノズルについての菌がシャーレで培養され、細菌検査の結果が異常値を示したことから、牛乳提供の中止を緊急要請した。

3 当日の納品事業者の対応

今回の検査の対象となった牛乳パックは、東京都と山梨県の一部の学校に納品されたが、全ての自治体に対し電話にて、提供中止を連絡した。

なお、杉並区では、7日10時30分頃に納品事業者から連絡を受け、学務課において、全校に電話連絡を行ったことにより、児童・生徒の摂取はありません。

4 再発防止に向けた納品事業者の対応

納品事業者では、細菌検査と理化学検査の検査用検体（牛乳パック）は、兼用しないほか、検査用検体は、使用后直ちに処分することなどを徹底し、再発防止策を講じた。

また、区としましても、今後、こうしたことがないように、再発防止策を徹底することを申し入れた。

5 その他

東京都内の学校給食に提供される牛乳については、大量の牛乳を安定的に提供する必要があることから、東京都が入札により決定した事業者から各自治体の学校に納品される仕組みとなっている。